



平成 23 年 1 月 21 日

各 位

東京都千代田区麹町一丁目 4 番地
松井証券株式会社
代表取締役社長 松井 道夫
(東京証券取引所第一部：8628)

【先物・オプション取引】ロスカット口座の導入および取引機能の改善について
～ロスカット口座開設者の建玉上限が日経 225 先物:500 枚、日経 225mini:5,000 枚へ拡大～

松井証券は、平成 23 年 2 月 14 日（月）（予定）の大阪証券取引所における次期デリバティブ売買システム「J-GATE」の稼働に合わせ、大手ネット証券で初めて先物・オプション取引において、ロスカット口座を導入いたします。

ロスカット口座を開設すれば、時価で計算した証拠金の評価額が一定の金額（ロスカットライン）を下回った場合に、全ての先物・オプション建玉の反対売買（ロスカット注文）がリアルタイムで行われるため、損失を一定の範囲内に抑えることが可能となります（※）。

また、ロスカット口座の導入に合わせて、「大口で取引したい」というお客様のご要望にお応えし、先物・オプション取引における建玉の上限を拡大いたします。

※相場が急激に変動した場合やロスカット注文の全数量が約定しない等の場合には、損失を一定の範囲内に抑えることができないことがあります。

【先物・オプション取引の建玉上限】

	ロスカット口座を開設した場合		通常	
	売建玉	買建玉	売建玉	買建玉
日経 225 先物	それぞれ 500 枚 まで		それぞれ 100 枚まで	
日経 225mini	それぞれ 5,000 枚 まで		それぞれ 1,000 枚まで	
日経 225 オプション	300 枚 まで	10,000 枚 まで	200 枚まで	1,000 枚まで

※建玉の上限は、新規建注文と既存の建玉の合計です。

先物・オプションを含むデリバティブ商品は、少額の証拠金でレバレッジを効かせた取引を行うことができ、また株式取引と比べ取引時間も長いため、相場の変動によっては差入れた証拠金の額を超える損失が発生する可能性があるなど、リスク管理の重要性が高い商品です。そのため、デリバティブ商品の取引においては、リアルタイムで証拠金を管理するロスカット機能が幅広く利用されており、当社の夜間先物取引、大証 FX（取引所外国為替証拠金取引）、NetFx（店頭外国為替保証金取引）においては、サービス開始当初からロスカット機能をご提供しています。

このたびの先物・オプション取引におけるロスカット口座の導入により、当社でご提供している全てのデリバティブ商品について、ロスカット機能をご利用いただけるようになります。また、先物・オプション取引は、昨年 7 月からイブニング・セッションの取引時間が延長し、今後も取引時間の延長が見込まれることから、先物・オプション取引における 24 時間体制でのリスク管理の重要性がさらに増していくものと考えています。



また、松井証券は、平成 23 年 2 月 14 日（月）（予定）より、「J-GATE」の稼働開始に合わせ、以下の取引機能の改善を行います。

「J-GATE」では、これまでの先物・オプション取引における注文方式と異なり多様な注文形式を組み合わせる必要がありますが、松井証券では、個人投資家の利便性を考慮し、独自のシステム開発により、個人投資家を使いやすい注文方式で取引できる環境をご提供するとともに、取引機能を大幅に強化いたします。

※「J-GATE」とは、大阪証券取引所が導入する、世界標準の取引機能と世界最高水準の注文処理性能を備えた新デリバティブ売買システムです。

【主な機能内容】

1. 多様な注文形式の簡素化

「J-GATE」では、従来と比べて多様な注文形式を組み合わせる必要がありますが、松井証券ではこれまで多くのお客様にご利用されていた注文方式でお取引いただけるよう、指値または成行による注文に執行条件を加える方式に簡素化してご提供いたします。

2. 「引け」、「指成」の執行条件付き注文に対応

「J-GATE」では「寄り」、「引け」、「指成」の執行条件が廃止されますが、松井証券ではお客様のご利用状況から特にニーズの高い「引け」、「指成」の執行条件を独自に開発し、ご提供いたします。

3. 「イブニング・セッション」までの有効期間指定に対応

「当日」、「週末まで」の有効期間を、当日・週末最終営業日のイブニング・セッション終了まで延長いたします。また、日中取引終了まで有効な「日中」の有効期間を新たに追加いたします。

「当日」と「週末まで」の注文は立会時間と立会時間の間（場間）で失効することなく（※）、取引所で注文が有効なまま保持されるため、時間優先ルールにおいて約定順が劣後しません。また、2.の「引け」、「指成」の執行条件と組み合わせることにより、日中取引終了時やイブニング・セッション終了時を指定した注文の発注が可能となります。

※お客様の取引状況によっては失効する場合があります。

4. 指値から成行への注文訂正に対応

「J-GATE」では指値から成行への注文訂正に対応していませんが、松井証券ではお客様の注文訂正の時間短縮のため、独自に指値から成行への注文訂正に対応いたします。

※その他、詳細は当社[WEB サイト](#)をご確認ください。

松井証券は、今後も個人投資家の利益に資するサービスの拡充に努めてまいります。

以上

< 金融商品取引法に係る表示 >

【先物・オプション取引（ロスカット口座）について】

- 株価指数先物・オプション取引の価格は、対象とする日経平均株価の変動等により上下しますので、これにより損失が発生することがあります。市場価格が予想とは反対の方向に変化したときには、短期間のうちに証拠金の大部分またはそのすべてを失うことがあります。
- 株価指数先物取引は取引金額が差入れる証拠金の額を上回るため、市場価格が予想とは反対方向に変化した場合には差入れた証拠金の額を超える損失が発生することがあります。
- 株価指数オプション取引の売り方は取引金額が差入れる証拠金の額を上回り、市場価格が予想とは反対方向に変化した場合の損失が限定されていません。
- 先物・オプション取引では、ロスカット口座を開設し、ロスカットルールが適用された場合でも、相場が急激に変動した場合やロスカット注文の全数量が約定しない等の場合には、損失を一定の範囲内に抑えることができないことがあります。その場合、当初設定していた金額を超えて差入れている証拠金額を上回る損失が発生するおそれがあります。
- 株価指数先物取引の委託手数料はインターネット経由の場合、日経 225mini 一枚あたり 105 円、日経 225 先物一枚あたり 525 円です。
※自動最終決済時の手数料も同様です。
※電話経由の場合、約定代金×0.042%、最低手数料は、日経 225mini 一枚あたり 1,050 円、日経 225 先物一枚あたり 10,500 円です。
(手数料は、すべて税込表示)
- 株価指数オプション取引の委託手数料はインターネット経由の場合、約定代金×0.21%、最低手数料 210 円です。
※自動権利行使・権利割当の手数は約定代金×0.21%です。
※自動権利消滅・権利放棄の手数はかかりません。
※電話経由の場合、約定代金×1.575%、最低手数料 10,500 円です。
(手数料は、すべて税込表示)
- 株価指数先物・オプション取引に必要な証拠金の額は、大阪証券取引所の採用する「SPAN®」で計算した SPAN 証拠金額をもとに当社が定めます。
※SPAN®は、シカゴ・マーカンタイル取引所の登録商標です。
必要証拠金：(SPAN 証拠金額×100%※1) - ネット・オプション価値の総額 (※2)
(現金必要証拠金 = 必要証拠金×50%※1)
- 株式等を代用有価証券（原則として掛目 70%）として使用することができます。
- 維持証拠金：(SPAN 証拠金額×100%) - ネット・オプション価値の総額 (※2)
- 日経 225mini の場合は、日経 225 先物の 1 枚あたりの証拠金額の 10 分の 1 です。
※1 指数またはプライス・スキャンレンジの変動状況によっては、必要証拠金計算時の SPAN 証拠金額に対する掛目について最大 200%まで、現金比率については、最大 100%まで、それぞれ一時的に引き上げることがあります。また、維持証拠金計算時の SPAN 証拠金額に対する掛目について最大 200%まで当社の任意で一時的に引上げることができるものとし、現金比率については、100%を上限に、当社の任意で一時的に設定できるものとしします。
※2 売オプション最低証拠金が SPAN 証拠金額を上回る場合、SPAN 証拠金額は、売オプション最低証拠金額になります。
売オプション最低証拠金額：プライス・スキャンレンジ×2.5%
売オプション最低証拠金について、1 単位あたりの最低証拠金を、大証の公表するプライス・スキャンレンジを上限に引上げることのできるものとしします。
- 株価指数先物・オプション取引の取引金額の必要な証拠金に対する比率は、SPAN®をもとに、先物・オプション取引全体の建玉から生じるリスクに応じて計算することから、記載することができません。



- 株価指数先物・オプション取引では、証拠金の種類、証拠金率および代用有価証券の掛目は金融商品取引所等の規制等または当社独自の判断によって変更されることがあります。また、保有可能な建玉数に上限が設けられており、相場状況により当社が変更することがあります。
- ロスカット口座を開設している場合、相場の変動に伴う証拠金余力の低下のほか、次の理由によるロスカットラインの変動や証拠金余力の低下により、ロスカット注文が発注される場合があります。
 - ・オプション取引による建玉の必要証拠金の変更
 - ・取引所による証拠金の変更
 - ・取引所または当社独自の規制による代用の制限または掛目の変更
 - ・当社独自の規制による SPAN 証拠金額に対する掛目の変更
- 当社の都合により、イブニング・セッションの注文受付開始が遅延すること、または当日の取扱ができないことがあります。
- ご利用にあたっては当社 WEB サイトの契約締結前交付書面、取引規程、取引ルール等をご覧ください。
- 口座開設料は無料です。口座基本料は個人の場合には原則無料ですが、上場会社、資本金が 1 億円超の未上場会社、宗教・学校法人等の場合には、年間 31,500 円（税込）の特別課金を行う場合があります。ただし、口座開設月から 1 年間は無料とし、過去 1 年間に取引がある場合には次の 1 年間は無料とします。
※口座開設後、各種書面の交付方法を電子交付から郵送交付に変更した場合、書面の郵送管理費として年間 1,050 円をご負担いただく場合があります。
- 松井証券株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 164 号／加入協会名 日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会）

【お客様からのお問い合わせ先】

口座開設サポート（平日 08:30～17:00）
0120-021-906（03-5216-0617）

【報道関係からのお問い合わせ先】

取締役 和里田 聡
03-5216-8650